

第50回 かなえ医薬振興財団 助成金受賞者が決定！

かなえ医薬振興財団は、2021年度第50回助成金公募にあたり、対象領域を、糖尿病／腫瘍・血液／免疫・アレルギー／希少疾患の4領域において研究助成金40件（各領域10名）の募集とし、6月1日から7月31日までの公募期間に合計で405名の応募がございました。9月29日の選考委員会及び10月20日の理事会を経て、受賞者40名、総額4,000万円の助成金交付を決定しました。

○助成対象領域別の応募状況

助成対象領域	応募者	受賞者	競争倍率
糖尿病・脂質代謝	58	10	5.8
腫瘍・血液	175	10	17.5
免疫・アレルギー	62	10	6.2
希少疾患	110	10	11.0
合計	405	40	10.1

助成人数の配分および助成金応募者について

本年度の助成金公募は、助成領域の変更、助成人数枠の固定など大きな変化がございました。助成領域ごとの助成人数の配分では、今年度の糖尿病、腫瘍・血液、免疫アレルギー、希少疾患の各領域の助成人数枠は10名となりますが、腫瘍・血液、希少疾患については、それぞれ臨床と基礎、神経と神経以外の領域に分け、この2領域では10名の助成枠を応募人数で比例案分した助成人数としました。具体的には、腫瘍・血液では臨床で6名、基礎で4名、希少疾患では神経領域で3名、神経以外の領域で7名の受賞者となりました。また今年度、女性の応募は405名中61名、応募者全体の15.1%（昨年：91名／16.3%）であり、件数、割合とも昨年より若干減少しました。外科系の先生方からの応募は111名、臨床医全体の43.9%（昨年：155名／44.3%）で、こちらは昨年と比較して件数は減少しましたが、割合は昨年とほぼ同様で推移しました。



●選考委員長よりひとこと

選考委員長 大家 基嗣

（慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室 教授）

今年度は「糖尿病」「腫瘍・血液」「免疫・アレルギー」「希少疾患」の4領域で研究助成金の公募を行い、全国の大学、研究所、病院等100施設以上から、405名の応募がありました。9月29日選考委員会、10月20日第2回理事会において、厳正な審査の結果、研究助成で40名の採択者が決定いたしました。

競争倍率10.1倍の厳しい競争の中で受賞された先生方に、心よりお喜びを申し上げます。今回受賞された先生方の研究内容は、極めて高く評価されていると共に、残念ながら受賞を逃された先生方にも数多くの素晴らしい斬新な研究内容が含まれており、選考委員一同、選考に大変苦勞をいたしました。また新設の「希少疾患」領域には、初年度ながら全国から110名の応募がありましたことを大変うれしく思います。ご受賞の先生方に置かれましては、今回の受賞が今後の研究活動により一層の励みとなり、生命科学分野の進歩発展と医薬振興にさらに貢献されることを期待しております。

●第50回 かなえ医薬振興財団 研究助成金受賞者

氏名	所属	研究課題
糖尿病		
須賀 孝慶	群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学	グルカゴンに着目した生活習慣病治療法の開発
楠山 譲二	東北大学学際科学フロンティア研究所新領域創成研究部	妊娠期栄養と運動が子の肥満・糖尿病予防効果を規定するヒストン修飾ダイナミズム
山本 毅士	大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学	フェロトシスに着目した糖尿病性腎臓病の病態解明と治療薬の探索
稲葉 有香	金沢大学新学術創成研究機構革新的統合バイオ研究コア、栄養・代謝研究ユニット	迷走神経性臓器連関とその破綻の2型糖尿病病態における役割の解明
佐々木 周伍	大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学 糖尿病病態医療学	糖尿病再生医療を見据えた膵β細胞成熟過程における脂肪酸利用機序の解明
會田 雄一	筑波大学医学医療系ニュートリゲノミクスリサーチグループ	causal SNV 探索を通じた血中リポ蛋白レベルを規定する遺伝素因の解明
藤原 和哉	新潟大学大学院医歯学総合研究科内分泌・代謝内科	リアルワールドデータを活用した糖尿病患者における血管合併症・介護発症予測の定義に関するバリデーションおよび疾患発症と増悪リスクの解明
出雲 渉	東京女子医科大学病院 消化器・一般外科	3D volumetry を用いた、膵切除後の新規糖尿病発症のリスク因子の同定と、許容膵切除率の検討
本池 雄二	藤田医科大学医学部循環器内科学	糖尿病患者における心房周囲脂肪組織の構造・機能解析と心房細動の病態解明
鶴澤 博嗣	順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学	ユビキチン様修飾因子 UFM1 の膵β細胞における生理学的意義の解析
腫瘍・血液		
笠島 裕明	大阪市立大学大学院医学研究科癌分子病態制御学	抗原提示性癌関連線維芽細胞が大腸癌腫瘍免疫に及ぼす影響の解析及び癌免疫療法への応用
向山 順子	国際医療福祉大学三田病院消化器外科	臨床検体を活用した疾患理解に基づく CDX2 低発現大腸癌に対する最適化治療の確立
本郷 周	慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室	シングルセル解析を用いた抗癌剤耐性前立腺癌ゲノム不安定性の解明と新規治療戦略
原田 和人	熊本大学病院次世代外科治療開発学寄附講座	シングルセル解析による胃癌腹膜播種に対する革新的新規薬物療法の開発
平山 真弓	熊本大学病院中央検査部	RNA スプライシング異常による転写伸長障害がゲノム不安定性を招き造血器腫瘍を発症させる機序の解明
嘉島 相輝	秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学	次世代ゼノグラフトモデルを用いた免疫チェックポイント阻害薬における治療効果予測バイオマーカーの探索と治療抵抗性機構の克服
越智 陽太郎	京都大学大学院医学研究科次世代腫瘍分子創薬講座	ゲノム編集とオミクス解析による白血病の病態解明と新規治療開発
渡邊 達郎	佐賀大学 創薬科学共同研究講座	成人 T 細胞白血病・リンパ腫の原因となる HTLV-1 感染細胞の DNA メチル化亢進異常の形成機序の解明
山野 友義	金沢大学医薬保健研究域医学系免疫学	デザイナー細胞による抗腫瘍免疫増強法の開発
知念 拓実	東京大学大学院薬学系研究科生理化学教室	血液がん細胞特異的な分裂阻害薬の創生～中心体を標的とする新たな抗がんストラテジーの開発～

氏名	所属	研究課題
免疫・アレルギー		
金子 直樹	九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野	新型コロナウイルス感染症と自己免疫疾患において増加する特異な T 細胞・B 細胞サブセットの病態との関連
山田 大翔	北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野	SARS-CoV-2 に対する、新たな抗ウイルスサイトカインの機能解析
田中 真司	東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科	消化管ホルモンによる神経系を介した免疫細胞制御に基づく急性腎障害新規治療法の開発
山下 尚志	東京大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	リンパ血管内皮細胞異常が誘導する自己免疫異常のメカニズムの解明
三宅 健介	東京医科歯科大学高等研究院炎症・感染・免疫研究室	好塩基球により誘導された M2 マクロファージによる皮膚アレルギー炎症抑制機構の解明
有岡 祐子	名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部	発達期の脳内免疫細胞による精神疾患の発症メカニズム解明
菅野 敏生	公益財団法人かずさ DNA 研究所先端技術開発部 オミックス医科学研究室	脂質スイッチによる抗ウイルス応答の誘導と分子機序に着目した新たな創薬標的への応用
松田 研史郎	筑波大学医学医療系	肝虚血再灌流障害における 1 型自然リンパ球の活性化機構の解明
今井 仁	東海大学医学部総合診療学健康管理学	クローン病における病原性共生菌を標的とするモノクローナル IgA 療法の開発
波多野 良	順天堂大学大学院医学研究科免疫病・がん先端治療学講座	ヒト免疫特有の炎症性サイトカイン IL-26 を分子標的とした炎症性腸疾患に対する革新的治療法の開発
稀少疾患		
山崎 世和	慶應義塾大学医学部生理学教室 (I)	ヒトの CBLN1 遺伝子疾患における小脳失調の分子病態解明と治療法開発
玉田 紘太	神戸大学大学院医学研究科生理学分野	自閉症責任領域である 15q11-q13 における NDN 遺伝子の機能解明
森本 悟	慶應義塾大学医学部生理学教室	Kii ALS/PDC (牟婁病) 患者由来 iPSC 細胞モデルを用いた病態解明および創薬研究
森坂 広行	高知大学医学部皮膚科学講座	先天性表皮水疱症への CRISPR-Cas3 の治療応用
木村 健一	国立大学法人筑波大学生存ダイナミクス研究センター	微小発現解析による大動脈解離の新規バイオマーカーの探索
正木 豪	国立循環器病研究センター血管生理学部	芳香族炭化水素受容体アゴニスト活性と末梢血単核球細胞の遺伝子発現に着目した肺高血圧症の新規診断及び予後予測法確立
南宮 湖	慶應義塾大学医学部感染症学教室	統合ゲノム解析から迫る肺非結核性抗酸菌症の病態解明
占部 文彦	東京慈恵会医科大学医学部泌尿器科学講座	シングルセル RNA sequence 解析を用いた間質性膀胱炎の病態解明と新規バイオマーカーの探索
加生 和寿	九州大学大学院薬学研究院分子生物薬学分野	ミトコンドリアゲノム複製の異常や大規模欠損を回避するための制御機構の解析
薬師寺 那由他	理化学研究所生命医科学研究センター	合指症モデルマウスを用いた胎児期治療標的の探索と同定

● 助成事業終了および財団の解散について

かなえ医薬振興財団は、1970年の設立以来、生命科学分野の若手研究者の斬新な研究活動を支援する目的で半世紀にわたり助成事業を行ってまいりました。

この間、1800名を超える若手研究者の皆様の支援を行い、日本の生命科学、医療の発展に貢献してまいりましたが、2021年度をもって助成事業を終了し2022年度は刊行事業のみの活動とすること、また2023年3月31日をもって財団を解散することとなりました。

半世紀に及ぶかなえ医薬振興財団の歴史のなかで、皆様には多大なお力添えを賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

公益財団法人かなえ医薬振興財団

発行

公益財団法人かなえ医薬振興財団 事務局

〒163-1488

東京都新宿区西新宿 3-20-2 サノフィ株式会社内

Tel : 03-6301-3090 FAX : 03-6301-3094

E-mail : kanae.zaidan@sanofi.com

URL : <http://www.kanae-zaidan.com/>

☆ご協力お願いします

このニュースレターは、歴代受賞者および応募関連領域の教室宛を中心に3000部発行しております。

送付先のご所属等に変更がございましたら、登録情報を更新いたします。お手数ですがe-mail等でご連絡下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、2013年（第42回）以降の受賞者の皆様はマイページ上で登録情報をご自身でも更新できますのでご利用下さい。